

4月2日(火) 八女交通安全協会 新入児童の交通安全を願って

八女交通安全協会から、町内3小学校の新1年生児童181人に、クリアファイルが贈られました。



この取り組みは、新入児童へ交通安全を呼びかけるために行われているもので、八女交通安全協会から毎年配布されています。

4月5日(金) 福岡県トラック協会 児童生徒の交通安全のために

福岡県トラック協会筑後支部から町内の小中学校へ、横断旗が贈られました。

同協会は、飲酒運転撲滅や制限速度の遵守など交通事故防止に向けたさまざまなキャンペーンの取り組みや、児童生徒を巻き込む交通事故撲滅のための交通モラルやマナーの啓発活動を行っています。



4月20日(土)・21日(日) 中村総二郎さん 福岡県代表選手として出場

佐賀サンライズパークで行われた「U-16九州トレンセンマッチ」に中村総二郎さんが福岡県代表として出場。



準優勝し、佐賀2024国民スポーツ大会(9月21日(土)～開催)の切符を手に入れました。中村さんは「FC広川(小学校)で教わった『サッカーを理解し考える』をベースに努力を積み重ねてきました。国民スポーツ本大会優勝へ向けて頑張ります」と意気込みを語りました。

3月30日(土) 総合クラブひろかわ 春の風を感じて

総合クラブひろかわのメンバーと参加者29人で、ウォーキングを楽しみました。

八女オルレコースの一部を歩き、八女中央茶園で

は淡い緑の新芽を愛で、桜公園では桜のトンネルで歓声を上げ、春の風を感じながら気持ちのよい一日を満喫しました。



4月5日(金) 広川町商工会青年部 まち子ちゃん文房具セットを寄贈

広川町商工会青年部から、町内3小学校の新1年生児童181人に、文房具セットが贈られました。

青年部長の重野さんは「今年、商工会は55周年を迎え、小学生や保護者向けのイベントを検討していますのでぜひ参加ください」と話していました。



3月20日(水) 姫野偉伊さん 居合道北九州大会で優勝

第48回全国各流居合道北九州大会(無段の部)で姫野偉伊さんが優勝しました。この大会は全国で2番目に大きな大会で、無段の部には54人が参加。県外の高校生や大学生の出場者が多い中、当時小学6年生の姫野さんが見事優勝。姫野さんは「来年はさらに稽古を頑張り、初段の部で優勝を勝ち取りたい」と感想を述べました。



3月8日(金) 広川中学校

それぞれの新たな旅立ち



広川中学校で卒業式が行われ、165人の生徒が思い出の学び舎を巣立ちました。

中園校長は「皆さんの顔には中学校3年間の学びを終え、成長した自信と誇りが感じられます」と述べ、旅立つ卒業生を激励しました。

式典終了後、卒業生からこれまで支えてくれた家族や先生へ感謝の気持ちを込めて別れの歌として「ハナミズキ」を合唱。美しい歌声が体育館に響き、カメラで撮影しながら涙する保護者の姿が多くみられました。



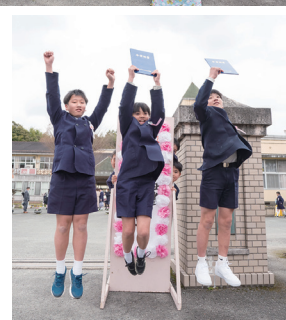
3月19日(火) 上広川小学校

6年間の思い出を胸に抱いて



町内3つの小学校で卒業式が行われ、上広川小学校29人、中広川小学校108人、下広川小学校42人、計179人が希望を胸に新しい一歩を踏み出しました。

上広川小学校では、猪口校長が卒業生一人ひとりの名前を読み上げ、卒業証書を授与。児童からの別れの言葉では、これまで支えてくれた家族や先生へ感謝の気持ちが伝えられ、涙を浮かべる保護者もいました。最後のホームルールでは、児童から保護者へ感謝の言葉とプレゼントが渡されました。



4月9日(火) 広川中学校

大きな夢と希望を抱いて



広川中学校で入学式が行われ、173人の新入生が中学生としての第一歩を踏み出しました。

式では、石橋校長が「中学校生活では自分を大切にする、自分を成長させる」と2つの言葉を贈り、新入生代表の大石蒼真さんは「新しい友だち作りと、部活動を頑張りたい」と決意を述べました。在校生代表の長野真穂さんは「皆さんの支えになれるよう全力でサポートします。中学校生活をともに楽しんでいきましょう」と歓迎の言葉を贈りました。



4月10日(水) 下広川小学校

笑顔と大きな声で元気いっぱい!



町内3つの小学校で入学式が行われ、上広川小学校27人、中広川小学校110人、下広川小学校43人、計180人の児童が新1年生となりました。下広川小学校では、担任の先生から名前を呼ばれた児童が笑顔と元気いっぱいに返事をし、式辞で跡部校長は「今年度は、学習に集中しましょう、笑顔であいさつしましょう、すすんで運動しましょう」と3つの言葉を新1年生に贈りました。式典終了後、教室に戻った児童たちはこれから勉強する教科書を手に取り眺めていました。

